
平成20年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成20年3月7日

質問者（質問順）

- 1 井上 さくら 委員（無所ク）
- 2 関 美恵子 委員（共産党）
- 3 渡邊 忠則 委員（自民党）
- 4 渋谷 健 委員（自民党）
- 5 荻原 隆宏 委員（民主党）
- 6 高橋 正治 委員（公明党）
- 7 工藤 裕一郎 委員（民ココ）
- 8 芥藤 達也 委員（自民党）

都 市 整 備 局

局 別 審 査

1 井上 さくら 委員（無所ク）

1 新市庁舎整備構想について

- (1) 都市再生機構とは現在どのようになっているか。
- (2) 今回取得すると説明してきているが、所有権は移るのか。基本協定には4月1日以降使用するとなっている。
- (3) 取得に伴う補正予算となっていて、市長は今年度中に取得すると言っているが、違うのではないか。
- (4) 市長は「取得を目指して」と言っているが、登記はされないのではないのか。
- (5) 契約の中で担保するということだったので、どのような内容になるのか。
- (6) 市長の答弁と局長の答弁が矛盾している。どちらが正しいのか。
- (7) 議案にも取得に伴う補正となっている。補正をなぜ今するのか。相手方が早く払ってくれという理由で払えるのか。
- (8) 今後検討というが、都市再生機構が決めたとおりに建てなければならないのではないか。
- (9) 都市再生機構のパンフレットにこのような計画があり、設計もされている。アセスや景観、交通なども決めた上で計画されているものではないか。
- (10) 取得と同等の条件と言っているが、建物を建てるのが前提となっている。168億円では済まない、巨大ビルを建てることに伴う支出が義務づけられているのではないか。
- (11) 市長の答弁と違うのではないか。取得と言っているが市に所有権が移転しないと市長に説明しているのか。
- (12) 建物を建てるというのは、事実上債務負担となるのではないか。一体いくらかかるのか。1工区はどれくらいかかったのか。
- (13) 都市再生機構がどれくらい使ったが分かれば残りの事業費が出るのではないか。
- (14) 都市再生機構は建設費に150億円かかっているようだ。これが4万㎡なので、

16万㎡に建てるとなると単純に4倍して600億円かかる。これだけの支出が義務づけられた土地ということだ。

(15) 土地代に新たな負担分がかかるということは、単なる土地取得と同等ではない。そういうことを説明しているか。

(16) 素案でお金の話はされていない。訂正して欲しい。

(17) 自治法から考えても議会に説明する必要があるのではないか。

2 関 美恵子 委員（共産党）

1 横浜駅周辺大改造計画について

- (1) 中期計画に盛り込んだ時点での事業内容及び事業費概算額 170 億円の内訳はどうか。
- (2) 2010 年度の目標に対し、自由通路とデッキについての 2007 年度末の進捗はどうか。
- (3) 民間プロジェクトを誘導・支援する再開発で 2010 年度に目標としていた民間再開発事業の 4カ所はどこを想定していたのか、また、事業化件数の進捗はどうか。
- (4) みなみ通路出口の横浜駅西口五番街地区、幸栄地区の再開発準備組合ではどのような意見が出されているのか。
- (5) 2007 年 2 月 9 日、懇談会が開かれた。どのようなメンバーか。目的は何か。
- (6) 横浜駅東口、西口の振興協議会の構成メンバーは誰か。
- (7) 計画の主な視点が、インフラ整備、防災対策、文化・娯楽施設の導入など、事業内容が、中期計画策定時より、拡大されているのはなぜか。
- (8) 5 月 8 日には、懇談会での意見を受け、計画づくり委員会をスタートさせている。メンバーはほとんど変わらないが、コーディネーターに都市再生機構を新たに据えた。要綱では、市長の判断でできるが、加えた理由は何か。
- (9) 鉄道事業者の人数を増やした理由は何か。
- (10) 委員会では、検討のテーマのイメージとして 4 点あげられている。一つは、民間開発を誘導する都市再生制度の活用としているが、これはどういうことなのか。中間報告にはどのように反映されているのか。
- (11) 都市再生緊急整備地域の指定区域と重なっているが、規制緩和、金融支援などはどうなるのか。
- (12) ところで、民間ではあるが、横浜都市再生推進協議会は、都市整備局長などメンバーに入っている。計画づくり委員会に反映したことが十分考えられるがどうか。また、横浜駅周辺の再生についてワーキンググループを設けて調査研究しているが、その内容について把握しているのか。

3 渡邊 忠則 委員（自民党）

1 都市整備局の予算編成について

(1) 20年度の都市整備局予算にあたり、どのような考え方で作成されたのか。

2 今後の鉄道整備とまちづくりについて

(1) この神奈川東部方面線の整備を進めるにあたって、本市がどのような役割を担っていくのか。

(2) 沿線地域へ説明や環境アセスメント等の手続きは今後どのように進められるのか。

(3) 東京メトロ副都心線と東急東横線・みなとみらい線が相互直通運転することでどのような効果が期待できるのか。

(4) 横浜環状鉄道の残りの区間について今後の見通しを伺いたい。

(5) 鶴見駅東口駅前広場再整備における課題及びその対応について、どのように考えているのか。

(要望) 鶴見駅周辺は放置自転車等が多く、地域にとって大きな課題となっており
ますので、関係局区と連携して、区民や駅利用者の期待に添うよう要望しま
す。

3 いえ・みち まち改善事業について

(1) 潮田・本町通地区における事業実績と今後の見通しはどうか。

(2) 地域住民と協働による取組を進めてきた結果、どのような成果が現れているのか。

(3) 「防災まちづくり計画」を本市はどのように受け止め、その実現を図っていく
考えか。

(4) 計画策定や事業実施にまだ至らない地区の今後の見通しはどうか。

(5) 「木造住宅耐震化促進等モデル事業」と「いえ・みち まち改善事業」の関係
はどうか。

(6) 「いえ・みち まち改善事業」において、耐震化促進を重点的に推進すること

の意義を伺いたい。

4 戸塚駅周辺のまちづくりについて

(1) 戸塚駅前地区中央土地区画整理事業について

ア 現在の土地区画整理事業の進捗状況について、伺いたい。

イ 事業スケジュールを予定通り進める上での課題とその対応策は何か。

ウ 20年度、「戸塚宿旧東海道魅力づくり事業」が予定されていますが、どのような事業か。

(2) 戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業について

ア 今後の街づくりのなかで「とつかトータルデザイン」に取り組むねらいは何か。

イ 再開発事業により整備される施設の維持管理について、どのように取り組んでいくのか。

ウ 国道1号を横断する歩行者デッキについて、その後の検討状況について伺いたい。

(要望) 戸塚駅周辺のまちづくりにおいては、この2つの事業の連携をとって、新たなまちづくりを進めていただくとともに、「とつかトータルデザイン」を推進することにより、戸塚ならではの特徴ある街にさせていただくことを要望します。

4 渋谷 健 委員（自民党）

1 横浜駅周辺大改造計画について

- (1) 横浜駅東口開発の事業化にあたっての課題と取り組みについて伺いたい。
- (2) 横浜駅西口のまちの課題と西口再生の取り組みについて伺いたい。
- (3) 河川の魅力的な空間整備を図るにあたっての課題と取り組みについて伺いたい。
- (4) 各関係者間の調整は、極めて複雑で多岐にわたると思いますが、ぜひとも時期を逸することなく、本市が主体的に積極的に取り組んで頂きたいと思います。横浜駅周辺の大改造へ向けての取り組みについて、副市長に伺いたい。

2 関内駅周辺の再整備について

- (1) 具体的には、どのようなことを考えているのか。
- (2) この現状についてどのような見方をしているのか。
- (3) 関内駅のバリアフリー化について副市長に伺いたい。

3 総合評価落札方式の推進について

- (1) 入札・契約制度について、必要な見直しとは何なのか、随時とはどういうスケジュールなのか、副市長に伺いたい。
- (2) 総合評価落札方式の19年度の取り組みについて伺いたい。
- (3) 18年度と比べて19年度の入札結果はどのようなになったのか。
- (4) 今後の総合評価落札方式への取り組みについて伺いたい。

1 横浜駅周辺大改造計画について

- (1) このアンケート調査ではどのような意見が見られ、また、これらの市民や専門家の様々な意見を踏まえ、今後計画の策定にどのように活かしていくのか。
 - (2) 親水性に配慮した河川空間の創出に向け、今後どのように取り組んでいくのか。
 - (3) 帷子川等の溢水に耐えうる河川空間の創出に、どのように取り組んでいくのか。
 - (4) 横浜駅そのものと、交通広場等を含めた横浜駅一帯の空間を横浜の顔にふさわしく再生すべきと考えるが、どうか。
 - (5) バスやタクシー等を利用する通勤通学、日常のお買い物をする市民の皆さんの利便性・快適性向上をしっかりと果たせる再生をすべきと考えるが、どうか。
 - (6) 大改造計画に防災対策をどのように位置づけ、安全確保のためにどのような取り組みを行うのか。
 - (7) 横浜駅憲章（The Yokohama Station Charter）を作り、より横浜らしさをアピール出来る横浜駅空間の創造に努めることを提案したいと思いますが、考えを伺いたい。
- （要望）来街者の皆さんにより横浜を楽しんでいただき、市民にとって誇りに思える改造計画を策定していただくことを要望します。

2 戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業について

- (1) 再開発ビルに入る皆さんには、これまでの環境とは違う中で、様々な営業上の不安があらうかと思うが、本市としてどのように対応していくのか。
- (2) 地元の皆さんが入居する区画やフロアの運営に、本市としてどのように取り組んでいくのか。

3 みなとみらい21地区の緑化について

- (1) みなとみらい21地区の緑化の現状についてどのように考えているのか。
- (2) 平成20年度において、みなとみらい21地区の緑化促進の取り組みはどのようなものか。

- (3) 今後、みなとみらい21地区で緑化促進のためにどのような取り組みを行うのか。
 - (4) みなとみらい21地区の緑をもっと利用していただく策を施して頂きたいと思いますが、考えを伺いたい。
- (要望) みなとみらい21地区でしっかりと緑化促進を施していただくことを要望します。

4 景観形成事業について

- (1) 本市の都市デザインに対する考え方について伺いたい。
 - (2) 4月からスタートする横浜市景観計画は、これまでの取組みとどのような違いがあるか。
 - (3) 関内地区の今後の街並みに歴史的建造物の特徴的デザイン要素を活かすなど、分かりやすい特徴づくりは考えられるのか。
 - (4) 本市全土にわたる都市ランドスケープの景観計画が必要と思いますが、考えを伺いたい。
 - (5) 本市の緑の景観施策についてはどのように取り組まれているのか。
 - (6) 規制ということではなく、都市デザインとして横浜らしい個性を感じられる施設なりしつらえなりの工夫について、今後どのような取り組みをしていくのか。
- (要望) 全国だけでなく、国際港湾都市ですから、是非世界中の人に横浜に住んで働きたいと思っていただける景観づくりにより一層励んでいただきたいですし、緑化推進についても都市デザインの観点から全土的にランドスケープ計画を立てて局所的な展開をしていただくことを要望します。

5 いえ・みち まち改善事業について

- (1) 全国の重点密集市街地の分布状況について、本市は他の大都市と比較するとどういった状況にあるのか。
- (2) 本市の重点密集市街地の対象地区はどのような基準で決められているのか。
- (3) 本市でも一層の事業の加速化が必要だと思うが、どのような取り組みがされ

ているのか。

- (4) 本市の密集市街地では、各地区の実情に合わせ、どのような改善を行っていくのか。
 - (5) 対象地区外の狭隘道路や古い木造住宅などの防災に対するきめこまかい街づくりをどのように取り組むのか。
 - (6) 住宅地や商業地など一般の市街地において、地域の課題解決に向けた地域まちづくりの取組をより一層活発にするためには、行政が待ちの姿勢ではなく、積極的に働きかけていく必要があると思うが、局長の考えを伺いたい。
- (要望) いえ・みち まち改善事業の対象地区以外においても、幅広い地域ニーズに応えられるよう、市民の発意を「待ち受ける」という姿勢だけでなく、積極的に市民にサービスを提供する、という姿勢を持って取組を進めていただき、そのための仕組みと体制づくりについても整備をしていただくことを要望します。

6 東横線跡地利用について

- (1) 東横線跡地について、どのようなコンセプトで再整備を進めるのか。
- (2) そもそもなぜ自転車・歩行者専用の道路として整備するのか。
- (3) 高島交差点の国道を渡る歩行者導線もあわせて整備し、利便性の向上を図るべきと思うが、見解を伺いたい。
- (4) 通行者の安全確保のためにも、旧三菱正門とその周辺をどのように整備するのか。
- (5) その他のアクセスの確保も含め、回遊性の向上に向けて、どのような取組を行うのか。
- (6) 単なる歩行者自転車専用道路としてではない、高架下の空間等を含めた東横線跡地全体の活用をどのように考えているのか。
- (7) 東横線跡地再整備には、「横浜らしさ」が感じられる施策も必要と思いますが、お考えを伺いたい。
- (8) 跡地再整備における民間との協働をどのように考えているのか。
- (9) 東横線跡地再整備により、防災性、経済性、街づくりの観点から、どのような

効果が期待されるのか。

(10) 将来を見据え、既成市街地とみなとみらい21地区との間の空間をさらに改善していく必要があると思うが、考えを伺いたい。

(要望) 開港150周年を1年後に控え、発展性と持続性に満ちた都市づくりの可能性を最大限に追求し、全国にとどろく跡地再整備を行うことを強く要望します。

1 これからの都市整備の戦略・考え方について

- (1) 都市整備におけるこれからの課題は何か。
- (2) コンパクトな街づくりに取り組む意義は何か。

2 総合交通施策について

- (1) 横浜都市交通計画策定のねらいは何か。
- (2) パブリックコメントの実施状況と計画策定のスケジュールを伺いたい。
- (3) 20年度予算案に「公共交通利用促進調査費」が計上されているが、調査内容と調査目的を伺いたい。
- (4) 公共交通利用促進に向けてバスの乗り継ぎ割引以外にも総合的な取組が必要であると考えているが、取組の方向性について伺いたい。
- (5) マイカー交通の抑制に向けた取組の考え方について伺いたい。
- (6) 本市都市づくりにおいて鉄道が果たす役割を伺いたい。
- (7) まちづくりの観点から鉄道による地域の分断という課題をどう考えるのか。
- (8) 公共交通の活性化に向けて、本市が担う役割は何か、副市長に伺いたい。

3 横浜駅周辺大改造計画について

- (1) 横浜駅の再生を検討する際、羽田空港や新横浜へのアクセス強化を考えるべきと思うが、どうか。
- (2) 横浜駅及びその周辺を誰にでもわかりやすくするためには、どのような対策が考えられるか。
- (3) 民間開発促進に向け、どのように開発誘導していこうと考えているのか。
- (4) エリアマネジメントの導入に向け、どのように取り組もうと考えているのか。
- (5) 横浜駅周大改造計画の実現に向け、どのような手順で進めようと考えているのか。

4 戸塚駅西口市街地再開発事業について

- (1) 戸塚駅西口再開発事業を進めるために、どのような点で工夫をしてきたのか。
- (2) 温暖化対策や省エネルギーなど環境への取り組みについて、具体的にどのようなことに取り組むのか。
- (3) 湧水をどのように利用するのか。
- (4) 壁面緑化の範囲及び効果について伺いたい。
- (5) 都市情報システムの導入に向けた基本的な考え方を伺いたい。
- (6) 市民・駅利用者へのアンケート調査結果の概要を伺いたい。
- (7) 都市情報システムの導入に向けて今後、どのように取り組んでいくのか。
- (8) 戸塚駅西口再開発の取り組みを踏まえて、拠点駅周辺の市街地再開発事業をどのように進めていくのか。

5 長津田駅北口地区市街地再開発事業について

- (1) 都市計画決定までどのような地元対応を行ったか。
- (2) 再開発事業の完成予定時期について伺いたい。
- (3) 今後の本市の関わり方について伺いたい。
- (4) 歩行者デッキによる歩行者の動線計画について伺いたい。
- (5) 長津田駅周辺地区のランドデザインについてどのように考えるのか。

6 歴史的景観保全事業について

- (1) 民間所有の歴史的建造物の認定や助成は、どのような点に配慮し民間の所有者と協議しているのか。
- (2) 開港150周年を控え、都心部の歴史的建造物などをどのように活用していくのか。

1 戸塚駅周辺のまちづくりについて

(1) 再開発におけるデザインの取り組み

ア 意見募集の結果は、どのようなものであったのか。また、今回の検討にどのように反映しているのか。

イ 「戸塚オリジナルモダン」とは、どのような考えか。

ウ このコンセプトを実現するために、戸塚ならではの取り組みとして、具体的にどのようなことを進めていく考えか。

エ 今回のデザインの検討において、機能面では、どのような取り組みを行う考えか。

(2) 戸塚駅前地区中央土地区画整理事業について

ア 区画整理区域の中では、どの様な地区計画を定めるのか。

イ 宅地造成後のまちづくりについて、地元地権者とどのような話し合いを進めてきたのか。

ウ ガイドラインでは、具体的にどのようなまちのルールを定めたのか。

(3) 大踏切前交差点の安全対策について

ア 現状の大踏切交差点の安全対策について、どのように考えているか。

2 中山駅南口地区市街地再開発事業について

(1) 中山駅南口地区再開発事業の進捗状況について伺いたい。

(2) 計画を策定するにあたって、駅利用者や周辺住民からの意見募集を行うのか。

(3) 再開発事業の今後の見通しについて伺いたい。

3 長津田駅北口地区市街地再開発事業について

(1) 現在の都市計画の内容について地元の合意形成をどのように図ってきたのか。また、現在の状況をどう認識しているのか。

- (2) 現在計画されている駅前広場の規模をどのような考えに基づいて決めたのか。
- (3) 再開発区域内における緑化の考え方について伺いたい。
- (4) ペDESTリアンデッキ整備の見通しについて伺いたい。
- (5) 今後どのように地元対応を行いながら事業を進めていくのか。

4 新交通システムについて

- (1) LRTには、一般的にどのようなメリットがあるとされているか。
- (2) LRT導入にはどのような課題があるか。
- (3) 富山市のLRTは一つの成功事例として評価されているが何が要因と考えるか。
- (4) 市内のLRT導入について今後の展望を伺いたい。

5 新市庁舎整備構想について

- (1) 審議会を開催しなかった理由は何か。
- (2) 新市庁舎整備構想の検討に当たっては、今年度に引き続き、専門家の意見を聞きながら進めていく必要があると思うがどうか。
- (3) 非「成長・拡大」の時代の中では、本庁機能のスリム化を図り規模を抑制することにより、コストの縮減を図るべきと考えるが、どうか。

1 長津田駅北口地区市街地再開発事業について

- (1) 長津田駅北口地区市街地再開発事業の現在の取り組み状況について伺いたい。
- (2) 工事着手に向けた今後のスケジュールについて伺いたい。
- (3) 長津田厚生総合病院前の道路拡幅の取り組み状況について伺いたい。
- (4) 長津田駅北口線沿線のまちづくりの取り組みについて伺いたい。
- (5) 長津田駅南口のバリアフリー事業の検討状況について伺いたい。
- (6) 今後のスケジュールについて伺いたい。
- (7) 南北を連絡する歩行者デッキの必要性についてどのように考えているのか。

(要望) 駅周辺のさまざまなまちづくりへの展開を促し、当局による事業の促進を要望します。